

## 福岡県北九州市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	従業者一人あたり市内GDP（名目）【8.2、9.4】	2016年 8,481 千円	2016年 8,481 千円			2030年 9,320 千円	—
2	再生可能エネルギー導入量【7.2、9.4、13.2】	2018年7月 288,000 kW	2022年3月 443,917 kW			2030年 700,000 kW	38%
3	市民の健康寿命（男性）【3.d】	2016年 71.93 歳	2019年 ※最新値 71.94 歳			2030年 今後検討	増加
4	市民の健康寿命（女性）【3.d】	2016年 74.01 歳	2019年 ※最新値 75.63 歳			2030年 今後検討	増加
5	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（小学生）【4.7】	2019年 94.4 %	2021年 95.4 %			2030年 全国平均以上	増加
6	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（中学生）【4.7】	2019年 94.5 %	2021年 95.3 %			2030年 全国平均以上	増加
7	北九州市の付属機関等の女性委員の参画率【5.5】	2020年7月 付属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(53.1%)	2021年6月 付属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(53.3%)			2025年 付属機関ごとに男女比率の均等を目指し、全体で50%以上を目指す	106%
7	北九州市の付属機関等の女性委員の参画率【5.5】	2020年7月 付属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(53.1%)	2021年6月 付属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(53.3%)			2030年 維持	—
8	社会動態の増減【11.3】	2020年 ▲757 人	2021年 ▲2152 人			2030年 社会動態プラスの早期達成及び維持	減少
9	公共施設再エネ100%電力化達成率【7.a、9.4、13.1】	2021年3月 0 %	2022年3月 18 %			2025年 100 %	18%
9	公共施設再エネ100%電力化達成率【7.a、9.4、13.1】	2021年3月 0 %	2022年3月 18 %			2030年 維持	—
10	市民1人一日あたりの家庭ごみ量【11.6、12.5】	2019年 468 g	2021年 462 g			2030年 策定中	減少
11	温室効果ガス排出の削減率（2005年度比）【13.3】	2017年度 ▲1.6 %	未算定（R6年度算定予定）			2030年 策定中	—
12	再生可能エネルギー導入量【7.2、9.4、13.2】（再掲）	2018年7月 288,000 kW	2022年3月 443,917 kW			2030年 700,000 kW	38%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	①先進のまちを目指した新たなビジネスやイノベーションの創出	再生可能エネルギー導入量	2018年7月 288,000 kW	2022年3月 443,917 kW			2023年 470,000 kW	38%
2	①先進のまちを目指した新たなビジネスやイノベーションの創出	起業件数（創業件数）	2019年 317 件	2021年 348 件			2023年 340 件	135%
3	②地域経済における自律的好循環の形成	従業者一人あたり市内GDP	2016年 8,481 千円	2016年 8,481 千円			2023年 今後検討	—
4	②地域経済における自律的好循環の形成	市内新規雇用者数	2015年～2019年 22,628 人	2020年～2021年 11,235 人			2020年～2024年 30,000 人	37%
5	②地域経済における自律的好循環の形成	市内企業への新卒就業者数	2019年 4,106 人	2021年 4,147 人			2024年 4,600 人	8%
6	②地域経済における自律的好循環の形成	温室効果ガス排出量の削減率（2005年度比）	2017年 ※2005年基準 ▲1.6 %	未算定（R6年度算定予定）			2023年 今後検討	—
7	②地域経済における自律的好循環の形成	実質公債費比率	2019年 9.9 %	2021年 10.3 %			2023年 今後検討	増加
8	②地域経済における自律的好循環の形成	将来負担比率	2019年 170.8	2021年 150.0 %			2023年 今後検討	減少
9	③働く場の地方分散・柔軟な働き方の普及	社会動態の増減	2020年 ▲757 人	2021年 ▲2152 人			2030年 社会動態プラスの早期達成及び維持	減少
10	③働く場の地方分散・柔軟な働き方の普及	「北九州市に住んでよかった、ずっと住み続けたい」と答えた市民の割合	2020年 82 %	2021年 83 %			2024年 90 %以上	13%
11	④新たな企業価値を生み出すSDGs経営の普及	（仮称）SDGsパートナーシップ制度登録企業数	0 社	2021年 373 社			2023年 300 社	124%
12	④新たな企業価値を生み出すSDGs経営の普及	市民のSDGs認知度	2020年 44.9 %	2021年 52.3 %			2023年 毎年増加	増加
13	④ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	保育所持機児童数	2020年3月 0 人	2021年4月 0 人			2023年 0 人	維持

## 福岡県北九州市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
14	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	女性就業率	2015年 70 %	2015年 70 %			2023年 73 %	—
15	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	北九州市の付属機関等の女性委員の参画率	付属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(53.1%) 2020年7月 %	付属機関等の女性委員参画率が平均で50%を超えている(53.3%) 2021年6月 %			付属機関ごとに男女比率の均等を目指し、全体で50%以上を目指す 2023年 %以上	106%
16	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	女性管理職比率（市職員）	2019年 13.1 %	2021年 14.5 %			2023年 15.0 %	74%
17	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	北九州イクス同盟加盟企業数	2021年3月 170 社	2022年3月 222 社			2023年 300 社	40%
18	①ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出	福祉施設から一般就労への移行	2019年 229 人	2021年 254 人			2023年 今後検討	増加
19	②市民参加型の活動による生活の質（QOL）の向上	世代別の地域活動参加率	2020年 42.1 %	2021年 33.9 %			2023年 今後検討	減少
20	②市民参加型の活動による生活の質（QOL）の向上	人口1人当たりの刑法犯認知件数（刑法犯認知件数/総人口）	2019年12月 6,127 件	2021年12月 5,109 件			2024年 4,500 件以下、政令市ベスト3	63%
21	③市民の健康（幸）寿命の延伸	健康寿命（男性）	2016年 71.93 歳	2019年 ※最新値 71.94 歳			2023年 今後検討	増加
22	③市民の健康（幸）寿命の延伸	健康寿命（女性）	2016年 74.01 歳	2019年 ※最新値 75.63 歳			2023年 今後検討	増加
23	③市民の健康（幸）寿命の延伸	1人あたり公園面積	2020年 12.63 m <sup>2</sup>	2021年 12.87 m <sup>2</sup>			2023年 今後検討	増加
24	④変革を支え、リードする教育・人材育成の推進	「子育てしやすいまち」と感じる市民（子育て世代）の割合	2019年 88.6 %	2021年 90.5 %			2024年 90 %以上	136%
25	④変革を支え、リードする教育・人材育成の推進	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（小学生）	2019年 94.4 %	2021年 95.4 %			2023年 全国平均以上	増加
26	④変革を支え、リードする教育・人材育成の推進	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合（中学生）	2019年 94.5 %	2021年 95.3 %			2023年 全国平均以上	増加
27	⑤感染症に対応した安心して暮らせる社会の構築	感染症予防研修会参加施設数	2019年 441 施設	2021年 375 施設			2023年 今後検討	減少
28	①脱炭素エネルギーの安定的な供給体制の構築	公共施設再エネ100%電力化達成率	2021年3月 0 %	2022年3月 18 %			2025年 100 %	18%
29	②市民・企業との協働による循環システムの構築	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	2019年 468 g	2021年 462 g			2023年 今後検討	減少
30	②市民・企業との協働による循環システムの構築	ごみのリサイクル率（かん・びん・ペットボトルなど）	2019年 28.0 %	2021年 27.9 %			2023年 今後検討	減少
31	③コンパクトなまちの形成によるストック型社会の創造	空き家率	2018年 15.8 %	空き家率は5年に1度しか出ないため、2021年度の数字は出ない			2023年 今後検討	—

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

本市では、真の豊かさにあふれ、世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」を2030年のあるべき姿とし、各種取組みを進めている。人と環境の調和により、新たな産業を拓く、「経済」の分野では、「再生可能エネルギー導入量」について、2030年の700000kWに向け、今後も北九州市地球温暖化対策実行計画に基づく順調な進捗が見込まれる。一人ひとりが行動し、みんなが輝く社会を拓く、「社会」の分野では、「人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合」が増加しており引き続き、持続可能な社会を創る担い手の育成を図っていく。また、積極的な呼びかけや情報共有を通じて、「付属機関等の女性委員の参画率」の上昇等に努めている。

世界のモデルとなる持続可能なまちを拓く、「環境」の分野では、「公共施設再エネ100%電力化達成率」について、目標である2025年の100%に向けて引き続き推進していく。

その他、2020年10月、本市は2050年までに脱炭素社会の実現を目指す「ゼロカーボンシティ」を表明した。この実現に向け、2021年2月、再エネ100%電力を普及するためのロードマップである「再エネ100%北九州モデル」を発表し、再生可能エネルギーの普及・拡大に取組むほか、本市が共同発起を務める「ゼロカーボン市区町村協議会」を通じて、自治体相互の連携による、脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進していく。